



2026年5月15日

各 位

会社名 株式会社ヒガシマル
代表者 代表取締役社長 東 勤
(コード番号 2058 福証)
問合せ先 専務取締役管理部部長 松久保 稔
(TEL 099-273-3859)

特別損失の計上及び2026年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期決算において、下記のとおり特別損失（減損損失、関係会社株式評価損）を計上するとともに、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の食品事業において、売上高の減少及び生産コストの上昇に伴い収益性が低下し、固定資産に減損の兆候が認められました。これを受け、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、回収可能価額が帳簿価額を下回った資産グループについて、18億98百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

昨今の中東情勢等の地政学的リスクの高まりや、それに伴うサプライチェーンの混乱、原材料価格の高騰など、中長期的な事業環境の不確実性を踏まえ、将来の事業計画を保守的に評価いたしました。本減損損失の計上により、次年度以降の減価償却費等の費用負担を軽減させるとともに、収益性の早期回復に向けた強固な経営基盤の構築に努めてまいります。

また、連結子会社の業績及び財政状況に鑑み、当社の個別決算において、関係会社株式評価損3億91百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損の計上は当社の個別決算における会計処理であり、連結決算上は相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

2. 業績予想と実績値の差異について

2026年3月期 通期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,271	百万円 390	百万円 368	百万円 199	円 銭 50.54
実績値(B)	13,332	434	479	△713	△180.22
増減額(B-A)	△939	44	111	△912	
増減率(%)	△7	11	30	—	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	14,126	146	285	80	20.45

2026年3月期 通期個別業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,920	百万円 533	百万円 803	円 銭 203.24
実績値(B)	8,633	498	△541	△136.77
増減額(B-A)	△287	△35	△1,344	
増減率(%)	△3	△7	—	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	8,890	321	217	55.11

3. 業績予想と実績値との差異の理由

通期連結業績につきましては、水産事業において、付加価値の高い自社製品の販売が増加したことや、カレールー製造子会社において、メディアで紹介された商品の増販が継続していることや新規大型企画の採用があったことなどにより、経常利益は業績予想を上回りましたが、前述の特別損失（減損損失）を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

また、通期個別業績につきましても、前述の特別損失（減損損失、関係会社株式評価損）を計上したことにより、当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

以上